

## 所長の部屋



### 所長の健康アドバイス

#### 健診結果への対応 (20) 心電図検査

[2020年3月]

今回は心電図検査です。この検査では、心臓自体が発する微量の電気を測定しています。通常は12枚の波形でひとセットです。よく見られる異常としては、不整脈と左脚ブロックがあります。

不整脈とは、通常は規則正しく一定のリズムで動いている心臓が、不規則に動くことです。常に不整脈がある場合と、1拍のみ又はごく短期間のみ不整脈がある場合があります。前者の代表が心房細動、後者の代表が心房（または心室）性期外収縮です。前者は以前から指摘されている場合が多く、健診で初めて見つかることは稀です。一方、後者はよく健診で見つかります。この場合は経過観察をするか、病院を受診して心臓の検査を受けるか、どちらかを指示されますので、その指示に従ってください。心臓に特に疾患がなくとも、このような不整脈はよく見られます。

左脚ブロックとは、心臓の中で神経のような役割をしている部分の、一部で刺激が伝わるのが遅くなっている状態です。心臓に疾患がなくとも起こりますので、通常は経過観察を指示されます。

心臓の疾患は、死亡原因になることも多くあるので、異常を指摘された場合は医師の指示に従い、必要ならば早急に検査を受けるのが良いと思われます。

「健診結果への対応」シリーズは、今回で終了です。次回から、よくある病気を解説したいと思います。

乙訓保健所長 時田 和彦

「所長の部屋」 バックナンバー・シリーズタイトル  
健康寿命を延ばす（メタボリック症候群についての話）  
がんを防ぐ（食道癌、胃癌、大腸癌の話）  
医者のお話（病院救急室の話）  
健康診断結果への対応（健診で異常値が出たときの話）  
健診で異常あり